

報告書

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(超短期プログラム用)

The University of Tokyo Study Abroad/Student Exchange Program Report Form (for programs from a week to 3 months)

記入日/Date: 2020/1/23

■ID: C19418

■参加プログラム/Program: AUA UM Appreciating Diverse Communities Through Art

■プログラム情報/Program info.: <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-short-AUA-UM-ADC.html>

■派遣先大学/Host university: マラヤ大学

■プログラム期間/Program period: 2020/1/15～2020/1/21

■東京大学での所属学部・研究科等/Faculty/Graduate School at UTokyo: 教育学部

■学年(プログラム開始時)/Year at the time of Study Abroad: 学部 3 年

■参加にあたってこの時期を選んだ理由/Reason for choosing this period to participate:

大学 1～3 年生夏はボランティア・インターン活動に専念しており、海外へのプログラム参加を考えていませんでした。3 年生秋頃に募集がかかり、院進を考えている私にとっては 4 年生の夏まではその勉強、それ以降はなかなか自分の専門分野以外の分野に関するプログラムに参加できる機会は少ないと考えたため、この大学 3 年生冬の時期を選びました。

■参加を決めるまでの経緯/How and why did you decide to participate?:

前述したように、大学 3 年生夏まではボランティア・インターン活動をしており、なかなか海外のプログラムに参加できる機会があっても参加を踏みとどまっていました。けれど、これから自分の道を絞っていく、来年は院進も目指していることを考えると、3 年生の冬という今しかないと思って参加をしました。英語は得意ではなく不安でしたが、チャレンジしようと思い参加を決意しました。

プログラムについて/About the program you participated in

■概要/Overview:

概要としては、アートの面から多様性を学ぶというものです。具体的には、1 日目は開会式とシティツアーです。2 日目は、レクチャーとマレーシアの伝統工芸を体験しました。3 日目は、マラカという町に行きました。4 日目は、マレーシアのゲームをやったり、チーム戦のランタン作りを行いました。5 日目は、クロージングセレモニーとホテルにあるプールで遊びました。前後 1 日ずつは移動のための日になります。参加者は、AUA 加盟の大学から来た生徒で、マレーシア・インドネシア・タイ・ミャンマー・インド・香港・中国・韓国・日本で約 30 名でした。印象に残っているのは 1 日目のシティツアーです。宮殿、モスク・中国のお寺・ヒンドゥーのお寺に行きました。人種・宗教・民族の多様性を建築物、アートから実感できました。また、参加者もそのようなカテゴリーにおいて多様なので、自分を相対化できたと思っています。クロージングセレモニーでは、立候補制で各自ショーを行いました。日本人でソーラン節を行いました。各国の様々なダンスが観れたのも面白かったです。

■学習・研究以外の活動で取り組んだもの/Activities you took part in other than study/research:

取り組んでいない。

■学習・研究以外の活動で取り組んだものの内容、または取り組まなかった理由/Details of the activities you

chose, or the reason why you did not take part in any activity other than study/research :
期間も短く、期間中のアクティビティで十分だったため。
■週末の過ごし方/How did you spend your weekends? :
1 週間のプログラムでお休みはありませんでした。

派遣先大学の環境について/About environment at the host institution

■設備/Facilities :
wifi がありました。使った施設は、基本的にアートセンターで、そこで用意された食事やレクチャー、アクティビティをしました。
■サポート体制/Support for students :
マレーシアの大学生 (buddies) たちがホストとしてサポートしてくれました。フレンドリーかつしっかりしており、頼りになりました。

プログラム期間中の生活について/About life during the program

■宿泊先の種類/Type of accommodation :
アパートなどの賃貸
■宿泊先の様子、どのように見つけたか/Environment around the accommodation and how did you find it :
主催団体が主催大学近くのホテルを用意してくれ、こちらは何もしてませんでした。1 部屋あたり 3?4 人のルームシェアです。アメニティは、タオル(バスタオルとフェイスタオル)、シャンプー兼ボディソープ、です。ハンドソープはありませんでした。ベッドはキングサイズのベッドが 2 つだったので、2 人でシェアする形だったのですが、私はシェアが苦手だったのでソファで寝ていました。トイレと洗面台とシャワールームが一続きになっており、シャワールームとの完全な扉ではないため、日本人にとっては少し不自由に感じるのではないかと思います。

■気候、大学周辺の様子、交通機関、食事等/Climate, environment around the institution, transportation, food, etc. :
気候は毎日 30 度越えの真夏で、現地では半袖で大丈夫です。交通機関は、基本的に主催大学が用意してくれたバスですが、個人で移動するときはタクシーや電車を使いました。タクシーや電車は 1 回あたり 3RM(日本円で約 100 円)で非常に安かったです。食事は、朝はホテルのビュッフェ、昼夜は外に出かけて食事をしていました。1 回あたり 10RM(300 円)もかからないくらいで十分な量を食べれます。辛い食べ物も多いので、苦手な人は参加メンバー(マレーシア)に聞くといいと思います。
■お金の管理方法、現地の通貨事情/Management of money and situation about local economy :
事前に日本で約 12,000 円をマレーシアの通貨に替えて行きました。現地では、複数人でご飯を食べた時に現金で支払うので、カードより現金を持つことをお勧めします。
■治安、医療関係事情、心身の健康管理で気をつけたこと等、危機管理/Aspects of risk and safety management, local health care system, and any actions taken to maintain your health :
非常に暑いので帽子や日傘持参をおすすめします。また、焼けたくない方は日焼け止めクリームは必須です。治安は特に悪くはなかったですが、ところどころにホームレスがいました。
■自由時間に利用した交通手段/Means of transportation in your free time :
タクシー, 列車
■プログラム期間中に利用したネット環境/Internet service usage during the program :

キャンパス Wifi, レンタルしたルーター

参加前の準備・手続きについて/About preparations and procedures before participation

■プログラムへの参加手続き/Procedures for participation:

応募時の提出物は、主催大学宛ての application form (英語、基礎情報他、志望動機や自己紹介を記入)、東京大学あての留意事項確認書と誓約書でした。また、UTAS の留学申請フォームの記入が必要でした。時期が A セメスター期間だったので、留意事項確認書には、学部の教授及び所属担当部局の署名が必要でした。参加決定後の提出物は、主催大学あての誓約書 (英語)、東京大学宛ての保険の手続き書でした。

■ビザの手続き/Procedures to obtain visas:

ビザは必要なかったです。

■医療関係の準備/Preparations or actions taken to maintain your health:

開催地はマレーシアで、特に感染症などが流行っていたわけではなかったので何もありませんでした。

■保険関係の準備/Preparations/procedures for insurance:

東京大学の留学時には必須の付帯海学のみです。

■東京大学の所属学部・研究科 (教育部) での手続き/Procedures required by faculties or graduate schools at UTokyo:

時期が A セメスター期間だったので、学部の教授及び所属担当部局の許可は必要でした。留学期間中にテストはなかったため特に学部の手続きは必要ありませんでした。

■語学関係の準備/Language preparation:

語学レベルは IELTS で 5.5 という低めのスキルで、事前に語学学習もしませんでした。通常のスキルがあれば大丈夫だと思います。また、日本語が話せる海外参加者も複数いました。

費用・奨学金に関すること/About expenses and scholarships to participate in studying abroad

■参加するために要した費用/Expenses of participation:

航空費	85,000 円/JPY
派遣先への支払い (授業料・施設利用料など) /Payment to host institution (tuition, facilities fee, etc.)	0 円/JPY
教科書代・書籍代/Textbook / Book	0 円/JPY
海外留学保険料 (東京大学指定のもの) /Overseas travel insurance fee (designated by UTokyo)	4,000 円/JPY
保険・社会保障料 (留学先で必要だったもの) /Insurance and/or social security (required by host institution/region/country)	0 円/JPY

■その他、補足等/Additional comments:

■留学先で費やした生活費/Overall expenses spent during the program:

家賃	0 円/JPY
食費	4,000 円/JPY
交通費	1,000 円/JPY
娯楽費	5,000 円/JPY

■ その他、補足等/Additional comments :

■ プログラム参加のための奨学金の受給有無/Scholarships to participate :
受給しなかった。
■ 奨学金の支給機関・団体名等/Name of the source of the scholarships :
■ 受給金額(月額)/Monthly stipend :
■ 受給金額についての補足等/Additional comments about the monthly stipend :
■ 奨学金をどのように見つけたか/How did you find the scholarships? :

プログラムを振り返って/Reflection

■ プログラムに参加したことの意義、その他所感/Impact of the participation on yourself or your thoughts :
満足した点・ダイバシティな環境でダイバシティについて自分の専門分野以外から学べたこと・マレーシアの文化を現地の人々から学べたこと(旅行や観光など綺麗な面からだけではないという意味)・英語への意欲が非常に高まったこと。満足していない点・特になし。
■ 今後のキャリアに対する考え方や就職活動に与えた影響/Impact of the program on your thoughts for a career or job hunting :
特にキャリアの考え方が変わったわけではありません。
■ 進路・就職先(就職希望先)/Career/Occupation (planned):
未定、卒業後は院進を希望しています。
■ 今後留学を考えている学生へのメッセージ、アドバイス/Any messages or advice for future participants :
短期派遣は、「きっかけ」だと思います。私は、大学 3 年生の冬という遅めの時期でそのきっかけを掴みました。ぜひ、皆さんには早めの時期に短期派遣をチャレンジすることをお勧めします。これからの将来、進路、自分の興味の幅を広げられると思います！短期派遣で大事なものは、高い英語力ではなく、チャレンジ精神とコミュニケーション能力だと思います。
■ 準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト、出版物/Websites or publications which were useful while preparing for or during your time overseas :
東京大学の留学サイト





報告書

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(超短期プログラム用)

The University of Tokyo Study Abroad/Student Exchange Program Report Form (for programs from a week to 3 months)

記入日/Date: 2020/1/24

■ID:C19419

■参加プログラム/Program: AUA UM Appreciating Diverse Communities Through Art

■プログラム情報/Program info.: <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-short-AUA-UM-ADC.html>

■派遣先大学/Host university: マラヤ大学

■プログラム期間/Program period: 2020/1/15～2020/1/21

■東京大学での所属学部・研究科等/Faculty/Graduate School at UTokyo: 教養学部(前期課程)

■学年(プログラム開始時)/Year at the time of Study Abroad: 学部 2 年

■参加にあたってこの時期を選んだ理由/Reason for choosing this period to participate:

経済学部の前期持ち込み科目のきまつしけんがちょうど 2 月だったため

■参加を決めるまでの経緯/How and why did you decide to participate?:

ウィンタープログラムはサークルとの折り合いで参加できなかったが、また何かしらに参加したかった。そんな中スケジュールがほとんどの学生にとってテストに被るのに対し、経済学部の持ち込み科目の試験日程が 2 月初週だったためこのプログラムの倍率は低いだろうと見越して応募した。英語でアジア各国の学生と関わることに興味があった。アラブ首長国連邦に行くプログラムもあったがそちらは帰国が 1 月末になるためこちらを選んだ。

プログラムについて/About the program you participated in

■概要/Overview:

クアラルンプールのイスラム、中国、ヒンドゥーそれぞれの宗教施設へフィールドワーク、マラッカでマレーシア各州の建築などの文化博物館と美術館訪問、教室でアートと国際関係のレクチャーが 2 回ほど。伝統的ゲームの体験。パティックとヘナタトゥー体験。5 人ほどのチームでランタンを作って 5 チームでコンペ。毎晩バディ達が夕食や観光に誘ってくれる。

■学習・研究以外の活動で取り組んだもの/Activities you took part in other than study/research:

文化活動, 取り組んでいない

■学習・研究以外の活動で取り組んだものの内容、または取り組まなかった理由/Details of the activities you chose, or the reason why you did not take part in any activity other than study/research:

今回はアジアのトップの大学生と親睦を深めるのが目的という側面が強かったので、ムスリムの人と話して理解を深めたことがある意味文化活動と言えるかもしれない。

■週末の過ごし方/How did you spend your weekends?:

短いプログラムだったので週末にも活動は入っていた。

派遣先大学の環境について/About environment at the host institution

■設備/Facilities:

図書館、トレーニング施設、食堂は今回利用できなかったが留学生でも問題無く利用可能のはず。PC は不明。wifi は学内にありますがあまり早くない。

■サポート体制/Support for students :

バディと呼ばれる現地学生達が、留学生を手厚くサポートしてくれる。困ったことがあればなんでも聞いてくれる。

プログラム期間中の生活について/About life during the program

■宿泊先の種類/Type of accommodation :

komune living というホテル

■宿泊先の様子、どのように見つけたか/Environment around the accommodation and how did you find it :

部屋についてはダブルベット二つで4人部屋。同じベッドで寝ることになる。リビングは4人では狭い。共有スペースには洗濯機、乾燥機、wifi あり。ゲームスペースやプール、トレーニング室なども揃っている。朝ごはんをビュッフェで食べられた。ドライヤーはない。自販機は中国のキャッシュレス pay のみ使えた。クレカは使えないかもしれない。

■気候、大学周辺の様子、交通機関、食事等/Climate, environment around the institution, transportation, food, etc. :

一年中 20 度後半から 30 度。バスで 10 分で大学。すぐ近くに電車の駅があり市街地中央まで簡単に行ける。食事は辛いものが多いが言うておけば辛いものも選べる。衛生面では意外と何の問題もなさそうだった。大学内ではムスリムへの配慮から長ズボンしか着用できない。

■お金の管理方法、現地の通貨事情/Management of money and situation about local economy :

マレーシアの空港で両替した。日本より安い交換料金でできるので日本円か US ドルも用意して現地で交換すると良い。また大きな土産物屋では日本円を使えることもある。

■治安、医療関係事情、心身の健康管理で気をつけたこと等、危機管理/Aspects of risk and safety management, local health care system, and any actions taken to maintain your health :

基本治安はよかったし、怖い経験もなかった。室内の冷房が強いので薄い上着は欲しい。

■自由時間に利用した交通手段/Means of transportation in your free time :

列車, grab という uber に似たライドシェア

■プログラム期間中に利用したネット環境/Internet service usage during the program :

キャンパス Wifi, レンタルしたルーター

参加前の準備・手続きについて/About preparations and procedures before participation

■プログラムへの参加手続き/Procedures for participation :

東大とマラヤ大学への応募用フォーム、成績証明を用意。事前にマレーシアについて知ろうと思い『アジア読本マレーシア』を図書館から借りた。

■ビザの手続き/Procedures to obtain visas :

特になし。

■医療関係の準備/Preparations or actions taken to maintain your health :

常備薬を持っていった。辛い食べ物が多い上衛生面に不安があったので胃薬を持っていった。結果的に使うことはなかったが。

■保険関係の準備/Preparations/procedures for insurance :

特になし
■東京大学の所属学部・研究科(教育部)での手続き/Procedures required by faculties or graduate schools at UTokyo :
テスト休みだったので特になかった
■語学関係の準備/Language preparation :
TOEFL ibt80 スピーキング 17 リスニング 20 友達を作る上ではこれで足りた気がするが、一緒にアイデアを出しながら作業をしている時すこし聞き取れず困ったり自分のアイデアがしっかり伝えられなかったりした。

費用・奨学金に関すること/About expenses and scholarships to participate in studying abroad

■参加するために要した費用/Expenses of participation :	
航空費	82,780 円/JPY
派遣先への支払い(授業料・施設利用料など)/Payment to host institution (tuition, facilities fee, etc.)	0 円/JPY
教科書代・書籍代/Textbook / Book	0 円/JPY
海外留学保険料(東京大学指定のもの)/Overseas travel insurance fee (designated by UTokyo)	5,000 円/JPY
保険・社会保障料(留学先で必要だったもの)/Insurance and/or social security (required by host institution/region/country)	0 円/JPY
■その他、補足等/Additional comments :	
好きに飲み食い買い物して 11000 円もかからなかった	

■留学先で費やした生活費/Overall expenses spent during the program :	
家賃	0 円/JPY
食費	6,000 円/JPY
交通費	3,000 円/JPY
娯楽費	2,000 円/JPY
■その他、補足等/Additional comments :	

■プログラム参加のための奨学金の受給有無/Scholarships to participate :	
受給しなかった	
■奨学金の支給機関・団体名等/Name of the source of the scholarships :	
■受給金額(月額)/Monthly stipend :	
円	
■受給金額についての補足等/Additional comments about the monthly stipend :	
■奨学金をどのように見つけたか/How did you find the scholarships? :	

プログラムを振り返って/Reflection

■プログラムに参加したことの意味、その他所感/Impact of the participation on yourself or your thoughts : 参加要項の段階で机で勉強というプログラムではないことは分かっており、自分の英語力でやっていけるか不安だった。しかし仲良くしたいという人ばかりで皆フレンドリーに接してくれ、言語の壁を越えて友人関係を築く成功体験ができた。皆日本の文化に興味を持ってきていて、逆に自分が相手の国の文化を知らないのが申し訳なかった。しかし矛盾しているようだが、一番仲良くなったのは日本語をかなり話せるようになっていた人達だった。言語の壁を乗り越えた先ではここまで親しくなれるのかと痛感した。私も第二外国語を再び勉強したいと思うようになった。当然まだまだ英語で話す力を鍛えねばとも思った。友人を作ることはやる気さえあれば拙い英語でもできるが、目的を持って作業するときには必然的に速いやりとりが増え、自分が足を引っ張っている形になってしまった。大きな事として、参加者達と非常に親睦を深められたことで、皆の母国での事件や出来事を他人事と感じなくなってきた。国際人としての第一歩を踏み出した気がする。
■今後のキャリアに対する考え方や就職活動に与えた影響/Impact of the program on your thoughts for a career or job hunting : アジアの人々の優しさ、ポテンシャルを大きく感じ、アジアの新興国に関わる仕事に興味を湧いた。
■進路・就職先(就職希望先)/Career/Occupation (planned) : 専門職(法曹・医師・会計士等)、民間企業、証券業
■今後留学を考えている学生へのメッセージ、アドバイス/Any messages or advice for future participants : 余裕があるなら行かない理由はないと思います。とりあえず今年のプログラムを全部見て行ける物を全て確認比較して欲しいです。私は今回行きたいというより行けるから参加したのですが、結果として想定を遥かに越えて充実した一週間を送れました。今の興味に縛られず参加してみると、新しい自分を見つけられるかもしれません。プログラムは毎年少しずつ変化します。去年行きたかったものが今年はないという事はよくあります。是非目の前の機会を見逃さないようにしてください。英語ができないと言い訳したくなることもありますが、それは我々ノンネイティブ非帰国子女には一生ついてくる悩みでしょう。現状を理解して英語学習のモチベーションにするつもりで応募してしまいましょう。また是非プログラム中は積極的に現地の人や参加者と話してみてください。皆あなたに話しかけられる事を期待してそれに参加しています。みんなを信じて勇気を出してみましょう、一生の思い出になるかもしれません。
■準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト、出版物/Websites or publications which were useful while preparing for or during your time overseas : Go Global Web サイト、アジア読本 マレーシアまっぐるマレーシア